

ハンドメイド女子のホンネとホンキ

wiii



Your Future, Your Way.



Your Future, Your Way.

玉井 せあ さん
経済学部 経済・経営学科 1年生



新たな学びや人との出会いが、成長の原動力になっています。

所属している学科を選んだ理由は？

私の地元は、四国の香川県。身近な地域で過疎化や少子化が進んでいたため、将来は街づくりや地域活性化に関わる勉強をして、ゆくゆくはそういった仕事に就きたいな、というぼんやりしたイメージを持っていました。そんなときに知ったのが、人の行動や心理を数値化するような行動経済学の存在。物事を理論的・数学的に考えるのが好きな自分の得意も生かしつつ、地域貢献にもつながっていける学問だと思って、この学科に進みました。

「推し授業」を教えてください！

楽しいなと感じているのは「感情・人格心理学」の授業です。入学当初は「早く友人を作らないと……」というプレッシャーを感じていたのですが、授業を通して周りの学生も同じ悩みを持っていると知り、気持ちが楽になりました。また、地域活性化を考えていく際には、社会心理学などが重要な要素になっていくので、将来にも役立つ学びだと思っています。

授業以外で、楽しいなと思うことは？

一人暮らしを始めたので、大変さはありつつも、自由な時間を満喫しています。サークル活動や部活も充実中！私の場合、友達が増えるだけでなく、学生起業サークルに入ったことで「会計士の資格を取ろう」という目標ができるなど、自己成長にもつながっています。

🕒 玉井さんの、とある1日

7:00	起床 ～準備	早起きは得意な方！ 準備してキャンパスへ向かいます。
8:50	1限	情報社会基礎
10:30	2限	行動学の話
12:00	ランチ	友達と一緒に食堂でお昼ご飯
13:30	3限	現代キャリアデザイン論
15:10	4限	感情・人格心理学
16:50	5限	学問への扉
18:00	部活	スポーツチャンバラ部で、 体を動かしてリフレッシュ！
21:30	帰宅	帰宅後は、料理をしたり、家事を済ませたり。 一人暮らしで、自活力がアップしました。
23:00	就寝	課題をしたりテレビをみたりした後、 明日の授業の準備をして就寝。

＼未来の後輩に贈るMessage /

素敵な出会いに向かって、
目標はできるだけ高く！

どんな学科をめざせばいいんだろう……と悩んでしまっている方もいるかもしれません。そんな時はぜひ、「自分は何をやっている時が一番楽しいかな？」「何を考えている時が、一番ワクワクしているかな？」と考えてみてください。自分の興味に素直に選ぶからこそ、受験期間も、大学に入ってからからの生活も充実したものになっていきます。また、進学先の目標はできるだけ高くもつのがおすすめ。目標が高いほど、そこに到達した時に、尊敬できる人や素晴らしい仲間に出会えて、刺激的な毎日を送っていただけますよ！



堀北 はな乃 さん
理学部 物理学科 2年生



忙しくて、大変な毎日も、好きだからこそ、頑張れる！

所属している学科を選んだ理由は？

物理学を学んでいた母から「物が熱くなるってどういうことだと思う？」という質問を投げかけられたり、顕微鏡をプレゼントしてもらったりしたことで、幼いながらに「物事の原理」を考えるのが好きになり、物理学を志すようになりました。大学選びの決め手になったのは、高校生の時に阪大キャンパスで受けた模擬授業。物理学科の教授がお話された、宇宙研究の内容を、鳥肌が立つほど「おもしろい！」と思ったことがきっかけです。

「推し授業」を教えてください！

今はまだ理論物理学の基礎を学ぶ座学が多いのですが、元々私が好きなのは実験をしたり、自分で手を動かしながら考えたりするような実学的な学び。そのため、物理演算用のプログラムを自分たちで組み上げる「数値計算法」の授業がとても楽しいです。「察する」ことができないコンピューターに正しい計算をさせるため、友達と一緒に奮闘しています。

授業以外で、楽しいなと思うことは？

物理学科は授業も多く、課題も膨大なので、隙間時間をうまく使って部活やバイトを頑張っています！今年度から、書道部部长にも就任。部員と協力して書道パフォーマンスの構成を考えたり練習をしたりする時間が、勉強の合間のいい息抜きになっていると感じます。

🕒 堀北さんの、とある1日

7:00	起床 ～準備	通学時間はオンラインの課題や 不足した睡眠時間を補うことに充てています。
8:50	1限	ロシア語中級
10:30	2限	地球惑星物質学
12:00	ランチ	学科の友人と課題をしながら昼食
13:30	3限	統計学C-1
15:10	4限	数値計算法
16:50	5限	空きコマを使い、友達と課題について話し合い。
18:00	アルバイト	百貨店のアルバイトを通して、 大人のマナーが身につきました。
21:30	帰宅	夕食や入浴はさっとすまして、 勉強モードに切り替え。
23:00	就寝	難しい課題と深夜まで格闘してから就寝。

＼未来の後輩に贈るMessage /

阪大は自由を得られる場所。
自分の「好き」をつきつめて。

大学は選ぶ授業も、どのくらい勉強するかも、全部自分で選べる、とても自由な場所。だからこそ「なんとなく」で学部や学科を選んでしまうと、入学後にうまくモチベーションを保てなくなることも…。私自身、授業に課題、部活、アルバイトと、休みなく動き回って「疲れたな」と感じてしまう時があります。でも物理学が大好きだから、走り続けられているんです。本当にその学問が好き。誰かに指示されなくても、頑張れる。皆さんが、自信を持ってそう思える学問領域が、阪大の学びの中から見つければうれしいなと思います！





文学部 人文文学科 3年生
山木 晴香 さん



迷ったら、やる！
これを心に留めて様々なことに
挑戦してみてください！

- Q2** 所属のゼミのこと教えて！
A 比較文学研究室に入っています。2年生から膨大な量の本を読み論文を書くので、課題が大変ですが、授業は面白く、先生も先輩も博識な方が多いので、話をすることが楽しいです。また、年に2回研究室の遠足で展覧会に行くのが楽しいです。
- Q3** 授業以外で、楽しいなと思うことは？
A サークル活動から発展して、様々な場所で演劇に関わっています。演じることはもちろん、スタッフ業も難しいことだらけですが、楽しいです。元々創作が好きなので、最近は脚本も書いています！

- Q1** 阪大を選んだ理由は？
A 私は興味の幅が広いので、様々な分野の学問を学ぶことのできる総合大学である阪大を選びました。その中でもこの学科を志望したのは、理系の勉強もできるかなと思ったから。今の研究室は、オープンキャンパスでの出会いきっかけで選びました。

基礎工学部 化学応用科学科 4年生
津ヶ谷 璃子 さん



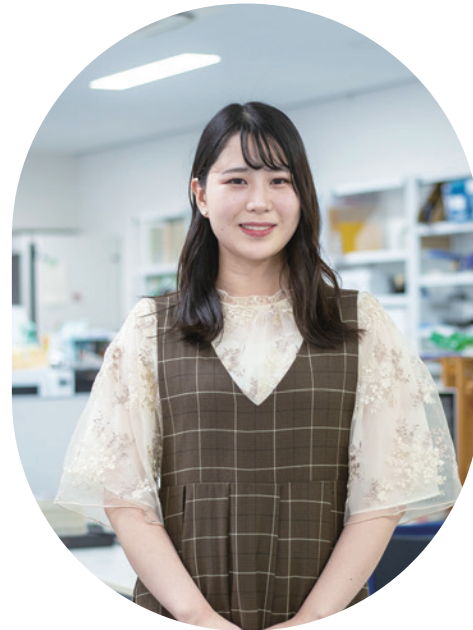
女子が少ない理系でも大丈夫！
興味を持った分野に進んで
勉強、研究を楽しんで！

- Q2** 受験生時代を乗り越えた秘訣は？
A 部活を高校3年生の5月に引退してから勉強モードに切り替えました。朝早くに登校して勉強し、授業の合間にお弁当を食べ昼休みも勉強し、徹底的に時間を有効活用。学校と塾を勉強の場、家は休息の場としてメリハリを持って過ごしました。
- Q3** 所属のゼミのこと教えて！
A 太陽光やメタンハイドレートのような次世代のエネルギーの活用を目指す研究室に所属しています。自分で実験計画を立て研究を進めるため、何をすべきか迷うことも多くありますが、先輩や先生の助けを借り日々実験に取り組んでいます。

- Q1** 所属している学科を選んだ理由は？
A 一人暮らしをしたかったため県外の大学を志望し、基礎工学部という理学と工学を融合したためずらしい学部に興味をもち阪大基礎工学部を志望しました。高校生の頃、化学が一番得意だったので、中でも化学応用科学科を選びました。



情報科学研究科 博士前期課程
バイオ情報工学専攻 1年生
安田 未来 さん



阪大には素晴らしい人たちとの
出会いがたくさん！
あと、文化祭も面白い(笑)

- Q1** 大学院の研究室ってどんな雰囲気？
A 私が所属する研究室は、イベントが盛りだくさんで、たこ焼きパーティーやビザパーティー、夏休み旅行などが定期的に行われます。研究の合間に仲間と談笑したり、一緒にゲームを楽しんだり、とても親しみやすい雰囲気です。

- Q2** 研究活動で大変なことを教えて！
A 大変なのは、研究の正解がなかなか見えない時です。いくら試行錯誤を重ねても結果が出ないと落胆します。それでも大きなやりがいを感じながら、楽しく研究を行っています。
- Q3** 就職について教えて！
A 情報学は、就職先の幅が広いと感じます。まだやりたいことが明確でない方には、情報学の専攻は非常にオススメです！また、阪大は女子学生の支援を積極的に行っており、企業の女性社員の方々とのワークショップなど、将来のキャリア形成を考えるサポートが充実しています。

工学研究科 博士前期課程
地球総合工学専攻 2年生
難波 和佳子 さん



阪大で、素晴らしい仲間たちと
逢える日を楽しみに、
気負わずマイペースで頑張っ！

- Q1** 大学院の研究室ってどんな雰囲気？
A 平日は基本的に学校に来て実験や作業をしている人が多いです。お昼ご飯はみんなで一緒に作って食べたり、息抜きにグラウンドに出かけたりと、オンオフのメリハリを大切に日々楽しく過ごしています。

- Q2** 就職について教えて！
A 就職活動は、自分の専門性を生かせる業種であれば、正直そこまで大変ではないと思います。とはいえ、自分の将来が決まっていないことに対する不安は大きく、そんなときは友達や親と話して、息抜きや自分の考えをまとめるようにしていました。
- Q3** 研究以外で、楽しいなと思うことは？
A 学部時代はスキューバダイビング部に所属しており、ライセンスを取得し長期休暇には沖縄や小笠原諸島にダイビングをしに出かけました。友達と一緒に海の景色を見たリ離島でのんびりと過ごしたりしたのは、とてもいい思い出です。

阪大理系女子学生の本音に迫る!

asiam Cross Talk

近年、理系で学び、自分らしく夢を追いかける女子学生たちが増えています。そこで今回は、大阪大学の自然科学系*女子学生ネットワーク「asiam(アザイム)」に所属する女子学生たちで対談を実施。阪大でどんなことを学び、感じ、未来に向かっていくのか、理系で学ぶ学生同士で、本音を語り合っていました。

※大阪大学の自然科学系学部:理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、基礎工学部



宮本 晴さん

大下田 碧さん

本園 由奈さん

梅田 純子 教授

中村 美月さん

吉田 千優さん

asiam(アザイム)とは?

「asiam」は、「ありのまま」「私らしく」を表現する「as I am」から生まれた言葉です。自然科学系の学部及び研究科に在籍する女子学生を対象にしたネットワークで、小中高生向けの科学イベントや進学相談会などの企画・運営を通じて、女子学生同士の学年、分野を超えたつながりや、女性研究者・女性リーダーの育成を目指しています。

接合科学研究所 複合化機構学分野

梅田 純子 教授

工学部 応用自然科学科バイオテクノロジー学科目

バイオテクノロジーコース 3年生

大下田 碧さん

(兵庫県立宝塚北高等学校 出身)

理学部 化学科 4年生

中村 美月さん

(石川県立金沢泉丘高校 出身)

工学研究科 博士前期課程 機械工学専攻機械工学コース 1年生

宮本 晴さん

(熊本県立熊本高等学校 出身)

工学部 応用理工学科機械工学科目機械工学コース 4年生

本園 由奈さん

(神戸大学附属中等教育学校 出身)

基礎工学部 情報科学科計算機科学コース 4年生

吉田 千優さん

(大阪府立天王寺高等学校 出身)

学びたい分野は、決まっていなくても大丈夫。

“興味の種”を見逃さないことが大切。

梅田: 今日、様々な分野で活躍するasiamの皆さんに集まってくれました。私自身、工学系の女性研究者としてお話を聞けるのが楽しみです!皆さんはそれぞれ、どんな理由や志をもって、今の学科に入学されたのですか?

本園: 私は、小さい頃から飛行機やロケットが好きで「工学機械を学びたい」と思い、工学部の規模が大きく、興味にあった研究室を選びやすい阪大を目指しました。現在は流体力学の研究室で、航空機のプロペラ周囲の空気の動きを可視化する研究に取り組んでいます。

中村: 私は本園さんとは違って、元々「この分野を学びたい!」という目標があったわけではなかったんです。ただ「どうせなら自分の学力で狙える“一番”を目指したい」と思って、阪大を選びました。浪人を経て入学していますが、目標を下方修正しなかったことは、これからの人生の糧になる選択だったなと思っています。

宮本: 中村さんの気持ち、すごくわかります。私も「目標はできるだけ高く!」というタイプで……要は負けず嫌いなんですね(笑)。工学部を選んだのはものづくりが好きだったから。高校時代の家庭教師が建築分野の大学生で、その方のキャンパスライフがとても楽しそうだった、ということも影響しています。

吉田: 私も、自分のやりたいことをはっきりと見つけられていなくて、

悩んだ記憶があります。でも考えるうちに、将来の道は学びながら見つけていけばいいんじゃないかと思うようになって。社会的なニーズも高い情報科学を学んでおけば、選択肢が狭まることはないだろうと思って、入学を決めました。

大下田: 阪大を目指すきっかけになったのは、オープンキャンパスで参加した理系女子高生向けのイベント。イベントを通じて推薦入試があることを知り、チャレンジしてみたいと思うようになりました。高校では理系のクラスにいたので、理系に進むことは漠然と決めていましたが、バイオテクノロジーコースに進もう、と決めたのは実験が好きだったからです。

梅田: こうやってうかがってみると、高校生の段階で「学びたい分野」が決まっていた方ばかりではないですね。

本園: 私は塾でアルバイトをしていて、受験生と話す機会も多いのですが、「やりたいことがない」という悩みはよく聞きます。

吉田: 私自身がそうだったから、その子たちの気持ちがすごくわかります!職業や分野から考えるんじゃなくて、「こんな大人になりたい」という将来像を見つけて、そこから逆算していくと、進学先が定めやすくなるかもしれない、と思います。

本園: 私も受験生たちに、何にワクワクするか、どんな大人になりたいか、だけでも見つけられるといいよね、とアドバイスするようにしています。

中村: 私も「コレ!」という分野が見つかったのは、大学に入学してからです。昔からなんとなく「薬剤師になろうかな」と思ったりはして。ぼんやりした方向性でいいから、楽しそう、と感じたことを心に留めておくことで進路決定のヒントになるのかな、と思います。

仲良くなってしまうと、性別は関係なし!

少人数だから、女子の絆は深いです。

梅田: 理系って「男の子が多そう」「女の子には大変なのでは?」というイメージを持たれることもある学問領域だと思うのですが、実際に学ばれてみてどうですか?

宮本: 女子の人数は確かに少ないですが、少人数だからこそ絆が深まりやすく、団結力が強いです!ただ女性同士の縦のつながりがつくりにくいので、試験の過去問が男子には回っていたけど、女子には回ってこなかった……といった経験も。サークルやasiamのような学内活動を通じて、積極的に上下のつながりをつくることをおすすめします。

中村: 私が所属している学科も、横のつながりは強いですが。また授業や実習において男女の壁を感じる瞬間はあまりないですね。同じ学びに興味がある同士なのでフランクに話せるし、仲良くなってしまうと性別は関係ないと思います。

吉田: 入学当初のグループワークで、女子は自分ひとり、周囲は全

真知らない男子、という状況になった時に、「ちょっとしんどいかも」と思ったことはありました。ただ、中村さんがおっしゃったように、仲良くなればこの感覚はなくなっていきます。初めは少し大変でも、自然と慣れていくし、だんだん楽しくなっていくことを知っておいて欲しいです。



大下田: 皆さんは研究室を選ぶ際に女性の割合なども考慮されましたか?そろそろ研究室選びがスタートするので、アドバイスをいただきたいです!

梅田: 宮本さんは、私の研究室に所属する大学院生です。宮本さんが初めて研究室に来た時のことを、私は今でもすごく覚えていて……。すごく不安そうに「女子学生が少ないそうですが、大丈夫でしょうか?」と尋ねてくれたんですね。

宮本: 確かに、当時は少し不安を抱えていました。だからこそ、梅田先生が数少ない女性教授であること、大学内で女性活躍推進の活動をされていることが研究室に入るにあたっての大きな安心材料になっていたと思います。あとは先輩方の人柄も決め手のひとつ。優しく、話しやすい先輩がいるこの研究室なら大丈夫だろう、と思いました。



吉田: 私は長期インターンに行きたい、という希望をもっていたので、学生の想いを考慮してお休みをいただけることを重要視していました。あとは研究室の雰囲気ですね。女性の先輩の有無より、質問や雑談がしやすい空気感の研究室を選ぶようにしていました。

中村: 私も研究室の雰囲気、環境を重視して女性の先輩が多い研究室を選びました。好きな研究と環境のバランスを、上手く取りなが

ら選ぶのが一番いいと思います。

宮本: 院に進学すると、研究室の仲間とは3~4年という長い時間を共に過ごすことになりますから、人間関係はとても大切。研究室の空気感を知るためにも、積極的に見学にいたり、先生、先輩の話の聞いたりするのがおすすめです。

大下田: 研究って大変そう、というイメージをもっていましたが、なんだか心が軽くなりました。研究室をどんどん訪問して、所属先をポジティブに選んでいきたいと思います!

受験のコツは、自分をしっかり知ること、先生や友人を、思い切り頼ること。

梅田: この対談を読むのは中学生や高校生など、これから受験を迎えていく学生たち。受験に向けたアドバイスはありますか?



大下田: 受験にあたっては、自分に合った勉強スタイルを見つけることが大切。私は部活をしていたこともあって、短い時間で効率よく勉強することを重視していました。あえて忙しくしておいて、自由時間は全て勉強に充てる。「時間があつたのに、怠けてしまった」と、自己嫌悪やストレスを感じてしまうことを防いでいました。

本園: 私も、部活一筋の高校時代を送っていたので、勉強に充てられる時間は少なく。とにかく授業でやったことをきちんと理解する、隙間時間にコツコツ努力を積み重ねる、という姿勢で勉強していましたね。浪人中に一番大切にしていたのは、計画性。模試などをマイルストーンにして、目標を掲げ、逆算して勉強計画を立てていく。そうやって達成感を感じられるポイントをたくさんつくことで、モチベーションを維持していました。

中村: 苦手科目をどう乗り越えるか、もとても大事だと思います。私の場合は苦手だった物理・数学を集中的に勉強しながらも、煮詰まってきたら得意な英語などに勉強を切り替えて、集中力を維持するようにしていました。あとは、とにかく人に聞くこと。その科目を得意な友人、先生方にどんどん頼ることをおすすめします。

吉田: そうそう、勉強はわかっている人に聞くのが一番の近道です。あと私も浪人を経験しているので、予備校時代は「〇時までは帰らない!」と決めて自習室などに籠り、勉強するしかない環境に身を置くようにしていました。

宮本: 得意な人に聞く、優秀な人の真似をすることって、とても大事ですよ。私は友人の勉強方法を真似たり、模試の結果を競い合ったりしてモチベーションを高めていました。それが結果として、お互いの学力を押し上げ合うことにつながったと感じています。



一般的なイメージや周囲の声ではなく、自分の「やってみたい」が一番大事。

梅田: 理系で学んでみたい、阪大に入学したいと思っている女子中高生に向けて、伝えたいことや、後輩たちの背中を押すためにも挑戦していきたいことはありますか?

中村: 大学の活動の一環で、高校生の進路相談を受けたときのこと。理系を志望している子の親御さんから「女子で理系って、どうなんでしょう?」と、不安そうに尋ねられました。私の両親は、大阪での一人暮らしをすることも含めて、私の阪大進学を応援してくれました。でもきつと、進路相談にいらっしゃった親御さんのように、心の中では心配もしていたんだと思います。我が子の独り立ちに不安を感じるのは当然ですが、子どもたちは親御さんに背中を押してもらって初めて、自信を持って自分が望む進路を選べるもの。阪大キャンパスの周辺は、穏やかで住みやすいエリアですし、困ったことがあれば助けてもらえる大学の制度も整っているので、心配しすぎることなく応援してあげてください、と伝えたいですね。でも、今日みんなで話したように、実際に阪大で学ぶ私たちは日々楽しみながら、自分が叶えたい未来に向かって、やりたいことに全力投球できています。ぜひオープンキャンパスや各種イベントで、実際の空気感を知って、阪大を目指していただきたいです。



宮本: 私も、入学する前は不安がありましたし、女性が少ないというイメージだけで大変なんだろうな、と思い込んでいました。でも飛び込んでみればそんなことは全然なくて。「女子だから」という理由だけで、理系進学を諦めるのはもったいない、阪大には安心して学べる環境があるんだと、声を大にして伝えたいです。

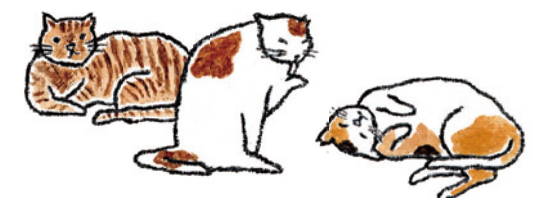
吉田: 女性が理系に興味を持つためには、「同じ方向を目指す仲間」がいることが大切だと思います。学んでいる情報科学の知識を生かして、まだ関西にはあまりない「女子中高生向けのプログラミング教室」を開催するのが、学生のうちに叶えたい私の夢のひとつ。私たちも、「こんな楽しい世界があるんだ」「同じ志を持っている仲間がたくさんいるんだ」ということを知ってもらい、皆さんの安心感をつくりだせるように、頑張っていきたいです。



本園: 吉田さんがおっしゃったように、理系女子学生の先輩である私たちが「楽しいよ」「入学してよかった!」という姿を見せていくことはとても大切なこと。小中高生向けの科学イベントなど、asiamの活動を通じて、後輩となる皆さんが科学や化学、工学に興味を抱けるきっかけを、これからもたくさんつくってきたいです。

大下田: 私自身、阪大のオープンキャンパスに来て、理系女子学生の先輩方の姿を見たことが進学への大きな励みになりました。この自分自身の経験を、多くの人に広げていくためにも、理系を学ぶ楽しさや意義、阪大で送っている充実したキャンパスライフについて、様々な形で発信していきたいなと思います。

梅田: 学びを楽しみ、成長を続けている皆さんの姿が、いつかきつと後輩たちのロールモデルになっていくはず。私自身も皆さんの声や姿を、しっかりと発信していく必要性を改めて感じました。本日は、どうもありがとうございました!





阪大女子流 ➔ 留學術

阪大の留学支援を超活用◎ 私たち、全力留学推し!!

➔ イギリス : 9 months



人間科学部 人間科学科 4年生
中村 早希 さん

ダーラム大学
大学間交換留学

誰でも実現でき、最高の自由を手に行ける

私は大学の交換留学制度を利用して、9か月間イギリスのダーラム大学に留学していました。イギリスを選んだのは、昔から海外に憧れがあったこととハリー・ポッターが大好きだったことが理由です。

滞在中は大学寮に入り、現地学生と同じ授業を受講しました。阪大での自身の専攻とは異なる授業を選択したのでしていくのは難しかったですが、日本では学ぶ機会が無かった多様な考え方を知ることができ、とても有意義な経験でした。

他にも、寮のパーティーに参加したり、クラブに行ったり、気軽にヨーロッパ旅行をしたり、日本ではなかなかできない多くの貴重な体験ができました。

中高生の皆さんの中には、留学とは手の届かない特別な選択肢だと感じる方もいらっしゃると思います。でも全然そんなことはありません。煩雑な留学手続きを私のようになんとかクリアさえできれば、誰でも実現できる選択肢の一つです。

留学すると、大学の成績評価やバイト、日本でのしがらみから解放され、最高の自由を手に入れられますよ(笑)。



➔ アメリカ : 1 month



理学研究科 化学専攻
博士前期課程 1年生
藤岡 侑美 さん

カリフォルニア大学デービス校
理工系大学院生のための海外研究発表研修コース

自身の未来まで見つめ直せる濃密な時間

私は1ヶ月間カリフォルニア大学デービス校で過ごしました。授業ではプレゼンテーションの作り方や発表の仕方、STEM、英語の発音などを学びます。もちろん全ての授業は英語で行われるため最初は大変でした。友人とその日に学んだ英単語を教え合ったり、ホストファミリーに教わったり、時には放課後に友人と自転車でデービスの街を散策したり、現地学生との言語交換のミーティングに参加したり。まさに英語に全身どっぷり浸かった1ヶ月を過ごしました。

留学中、特に記憶に残っているのは、現地の大学の研究室訪問です。幸運なことに、前の年にノーベル化学賞を受賞された研究室も訪ねることができました。この体験を通じて現地の友人もでき、何よりも修士卒業後の進路を見つめ直す良いきっかけとなったことは、人生のターニングポイントと言えます。

このように留学期間中はとても濃密な時間を過ごすことができました。阪大には学部生のうちから参加できる様々な留学プログラムがあるので皆さんもぜひ阪大生になって、留学に挑戦してみてください。



➔ タイ : 1 week



歯学部 歯学科 6年生
井澤 美香 さん

チュラロンコン大学
歯学部学部学生海外派遣プログラム

似た志を持つ一生涯の仲間に出会える

私は歯学部学部学生海外派遣プログラムを活用し、タイのチュラロンコン大学に1週間の短期留学をしました。

留学中は様々な診療科を周り、現地の先生や学生たちと治療方法やキャリアについてたくさん語り合いました。日本と違い、タイではデンタルスクール(歯学生が安価で治療を行う場所)で4年生から患者の治療をしていることに驚かされました。

留学で1番良かったことは、様々なルーツを持った同世代の友人ができたことです! ほぼ全員が英語を話せ、私より下の学年の学生が私よりも難しい治療を行う。正直ショックも受けましたが、そのおかげで勉強へのやる気も上がり、日本の中しか知らない蛙にならなくてよかったと感謝しています。

確かに海外には旅行でも行けます。でも、同じような志を持った一生涯の仲間に出会える機会はなかなかありません。阪大は世界中の大学と交流が盛んなので、様々な留学プログラムがあります。大学生という人生の旬の時期に世界を見ることは、人生の良いターニングポイントになると思います。ぜひ皆さんも阪大から世界へ羽ばたいてください!



➔ フィリピン : 1 month (オンライン)



外国語学部 外国語学科
イタリア語専攻 2年生
西川 佳菜 さん

エンデランカレッジ
エンデランカレッジ夏季語学研修

語学力はもちろん、視野を広げるチャンス

私は1年生の夏休みを利用して、フィリピンのエンデランカレッジに1ヶ月間のオンライン留学をしました。

オンライン留学とは、日本にいながらネットで海外の大学の授業を受けたり、他の参加者と交流したりできる留学です。もちろん授業は全て英語で行われます。人前で発言をする機会が多く設けられていたため、普段英語を話すことが少ない私にとっては十分過ぎるほど刺激的な体験でした。

この留学は英語力の向上はもちろんのこと、様々な出会いや経験を通じて新しい考え方や価値観に触れることができ、自分の視野が広がった非常に有意義なものでした。それから、授業が13時までだったため、終了後にアルバイトやサークルにも参加できたことは隠れたメリットです。おかげでオンライン留学ならではの充実した夏休みを過ごせました。

新型コロナウイルスが収束してきた今、海外留学を考えている方も多くいらっしゃるでしょう。阪大では留学支援制度が非常に充実しており、留学経験によって成長できる環境が整っています。皆さんもぜひ留学にチャレンジしてください!





Life at Global Village TSUKUMODAI

新しい環境やたくさんの学び、友人との出会いにあふれた大学生活。先輩たちがどんなふうにも大学生ライフを楽しんで、成長しているのか？ 吹田キャンパスにほど近い国際寮「グローバル ビレッジ 津雲台」で暮らし、レジデント・チューターも務める学生さんに、お話を聞きました。



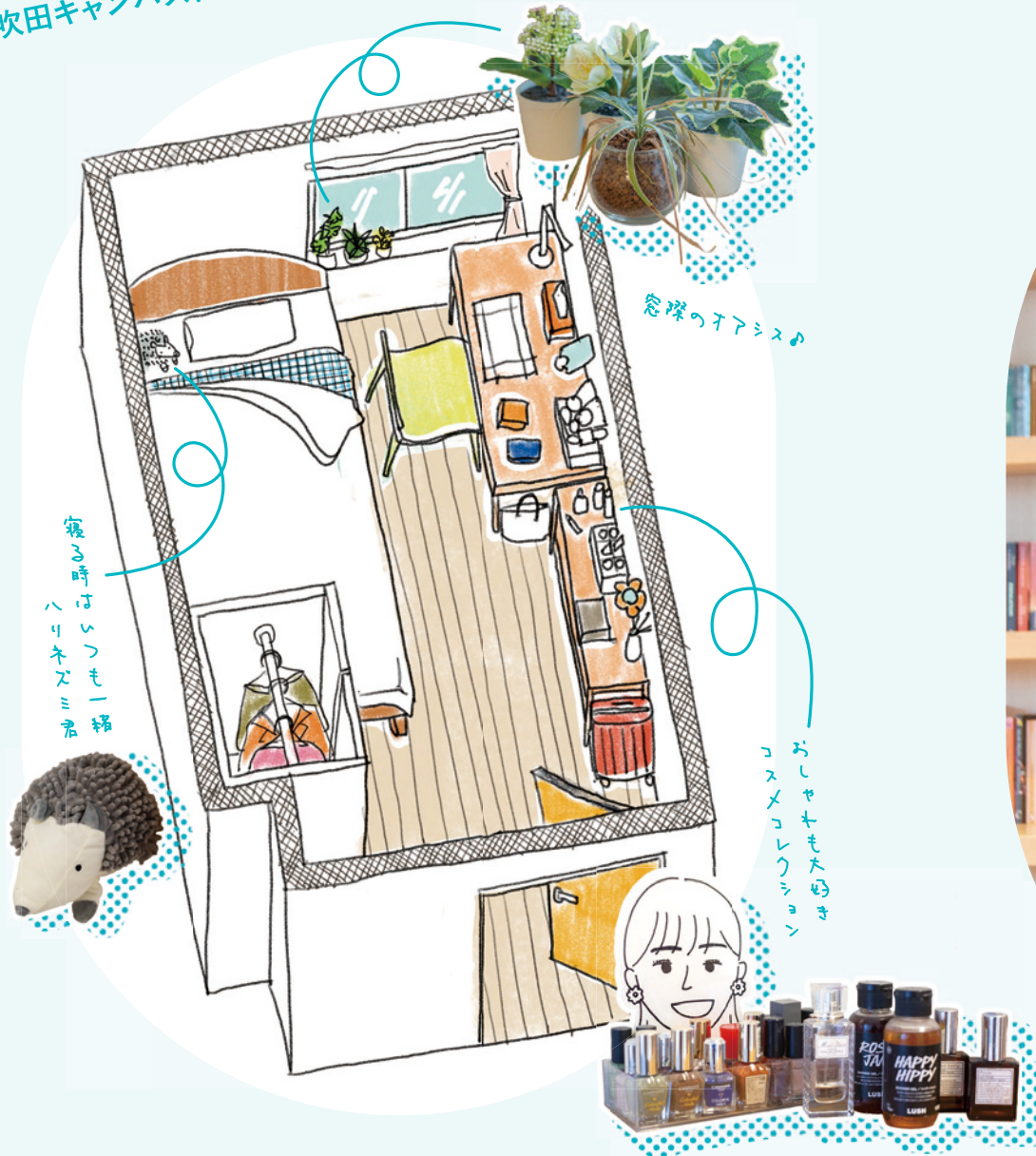
帰国した留学生からの手紙。同室だった友人たちを誘い、いつか世界中を旅したい！



日本文化の魅力を伝えるために、留学生から大歓迎された。「お茶会体験」。



ダイニングに集まって、同室のみんなとご飯を食べたり、遊んだり。



私が紹介します！

経済学部 経済・経営学科 3年生
阪上 萌結 さん

私の成長 POINT!

24 自己管理能力がアップ!
実家を出たことで、自活力が身につきました。勉強に集中したい時は、寮にある自習室や近くのカフェへ。遊ぶ時間・勉強時間にメリハリをつけられるようになったと思います。

能動的になれた!
自分の思いをはっきり口にしたり、目標に向かって行動を起こしたりしている留学生から刺激を受けて、「やりたいこと」「叶えたいこと」を自分の力でめざせるようになりました。

視野が世界に広がった!
一緒に過ごした留学生とは、帰国後も交流を継続中。世界中に訪ねられる友人がいるので、できれば近い将来、長期的に海外に渡航して、様々な国を訪問してみたいです。

大学生活を充実させつつ、グローバルな経験も。大阪にしながら、世界中に友達ができました!

元々国際交流に興味があり、一時期は留学も検討していた私。でも、キャンパス内での学びとサークル活動がとても楽しくて、大阪を離れたくないようになりました。そこで「グローバル ビレッジ 津雲台」での生活に挑戦することに。面接などの選考を経て、2年生の春学期から寮生活をスタートさせました。現在は寮のイベントの企画・運営や、寮のルールづくりなどを担当するレジデント・チューターを務めながら、9人ユニットの一室で暮らしています。言語も文化も違う留学生たち

との日々には驚きがいっぱい。異文化への理解を深められたり、日々の会話で英語力が伸びたりする一方、時には文化の違いが原因となって寮生同士が衝突することもあります。でも一緒に住む留学生が、日本で心地よく学び安心して過ごせる環境をつくるのが、私たちチューターの仕事。対話の機会を持つことで、課題に対応するようにしています。2年間の寮生活もあと半年。残りの期間もたくさんイベントを企画してみんなと交流を深め、人生に役立つ国際経験を積んでいきたいです。

¥ 阪大生の1か月の平均生活費

(単位:円)

	食費	住居費・光熱水費	交通費	修学費	日常費	合計
自宅生	10,200	1,384	12,724	4,491	13,339	42,138
自宅外生	26,363	36,358	20,023	12,152	15,590	110,486

出典:第25回大阪大学学生生活調査(2021年調査)

勉強と研究だけがすべてじゃない!!

部活&サークル

CLOSE UP!!



阪大には、先輩たちが情熱を注ぐユニークな部活やサークルが盛りだくさん!! そんな中でも女子学生が活躍する注目の6団体をクローズアップし、阪大を目指す皆さんに向けた先輩からのメッセージを届けます。

ベリーダンスサークル

私たち「Halaawaat」では、ベリーダンスを通して、中東・世界各地の文化に触れること、様々な方と交流することを目的に、練習やショーを行っています。ベリーダンスは、中東・アラブ圏から、世界各地へ発展したと言われている。その名の通り、ベリー(=お腹)の動きが特徴的なダンスです。一般的には「女性」のダンス、「セクシー」なダンスというイメージが浮かびますが、それだけにとどまらない広がりや魅力を日々の活動の中で感じています。

皆様の興味と努力が尊重され、多様な場で学ぶ機会が得られる社会を切望し、皆様の進む道とその過程を応援しています。

文学部人文学科 3年生
深田 菜央香さん

漕艇部

私たち、大阪大学漕艇部は淀川で練習に取り組み、体力や技術の向上を目指しています。部には選手だけでなくマネージャー、トレーナーなどのスタッフも多く在籍しており、目標達成のためにチーム一丸となって日々活動しています。全員が支え合うことで活動が成り立っているため、全員がやりがいを感じることでできる部活です!

そんな漕艇部生活でできる人とのつながりの深さは随一です。なかでも、寝食を共にする合宿所生活は特別です。練習後にみんなでワイワイしながら食べるご飯はとても美味しいですし、過ごす時間が桁違いに多いので、部員同士、まるで家族のように仲良くなります。

阪大漕艇部で、最高の仲間と最高の思い出を!

人間科学部 人間科学科 2年生 西原 麻衣子さん
理学部 物理学科 3年生 高塚 紗弥菜さん
理学部 化学科 2年生 田中 葵さん
理学部 化学科 2年生 小山 夏希さん

アルティメット部

アルティメットとは、フライングディスクを用いたチームスポーツです!1チーム7人でディスクを落とさずにパスして運び、コート両端のエンドゾーン内でディスクをキャッチすると、得点になります。華麗なパスさばきや豪快なダイビングキャッチ、コートの端まで届くロングスローなど、「走・投・跳」全ての動きが見られるダイナミックなプレーが魅力です。ほとんどの人が大学から始めるスポーツなので、新しいことに挑戦してみたい人にぴったり!出身部活もバラバラなため、個々の経験を活かして自分にしかない強みを作ることができます。切磋琢磨する同期や、頼りになる先輩との出会いもあり、大学生活が充実すること間違いなしです!ぜひ一度、見学に来てみてください!



文学部
人文学科 3年生
高野 彩佑子さん

空手道部

私たち阪大空手道部は、七大戦と全国公大会での優勝を目指し日々活動しています。練習では、自分たちでメニューを考案し目標に向かって主体的に取り組んでいます。40名ほどの部員の約半数は初心者ですが、普段の練習や、OB・OGの方々の指導により大会で活躍できるほど強くなることができます。また、私たちが目標としている七大戦や全国公大会は団体戦でありチームが一丸となって戦う楽しさを味わうこともできます。さらに、練習後のご飯や、合宿など部員同士の仲の良さも特徴です!厳しい練習もありますが、たくさんの思い出や大切な仲間を手に入れることができます!阪大空手道部に入って最高の4年間を過ごしませんか??

経済学部 経済・経営学科 4年生
片桐 彩恵子さん

ミュージカルサークル

大阪大学ミュージカルサークルみーあキャットです。みーあキャットには阪大をはじめとする関西の大学の学生が所属しており、演者としての出演はもちろんのこと、音響照明や舞台美術といった制作、監督演出、楽譜や音源の作成、振付、ホールや外部との連携等を全て自分たちで行なっています。もちろん、上演を迎えるまでにはたくさんの乗り越えるべき壁が立ちますが、時にぶつかり合い、時に支え合い、仲間とともに舞台上から見る景色は何にも代えがたい宝物です。みーあキャットでは随時新規団員を募集しており、一緒に舞台を作る新しい仲間に出会えることを心待ちにしています。この場所で得られる唯一無二の経験はきっと忘れられない、忘れたくない思い出になるはずです。

医学部 保健学科 3年生 大川 更紗さん



交響楽団

大阪大学交響楽団は、約170名が所属する学内最大規模の課外活動団体で、阪大オケの愛称で親しまれています。今年で創立70周年を迎え、年2回行われる定期演奏会や、入学式・卒業式など大学公式行事における演奏を主な活動としています。当団には学部、学科問わず多くの団員が所属するため多様な価値観、人間関係に触れることができ、団員は合宿や依頼演奏、定期演奏会を通してたくさんの思い出を得られます。そして、何よりも仲間たちと共に、多くのお客様を元気づける音楽を作り上げることを喜びとしています。

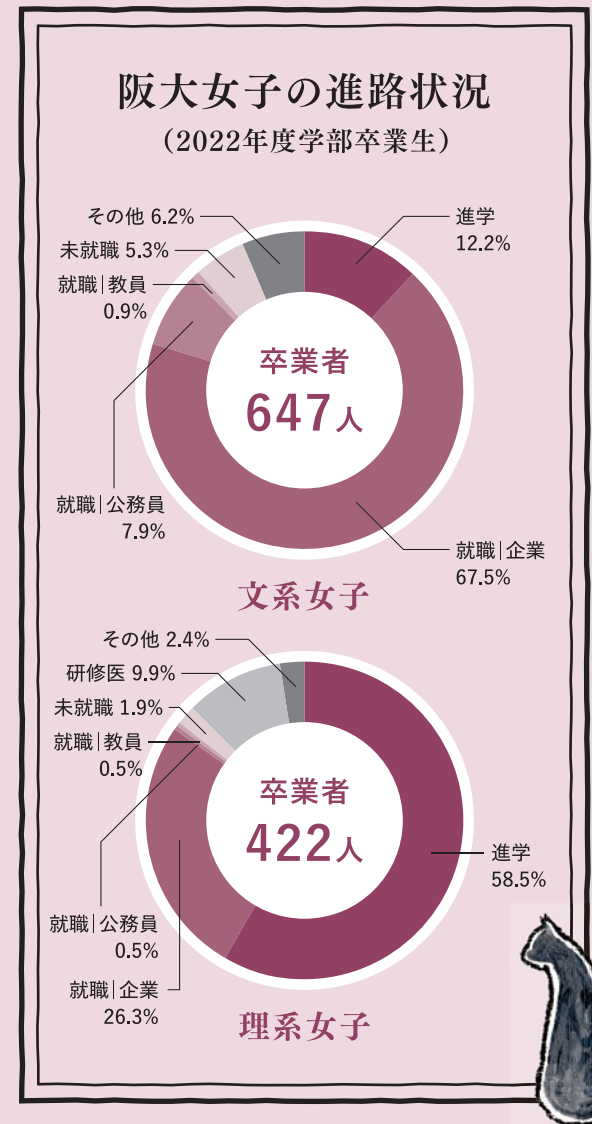
未来の阪大生の皆さん、私たちがたくさんの思い出をつくり、一緒に音楽を奏でて感動しましょう!かけがえのない学生生活が待っています!



HANDAI OG's Messages



大阪大学で学んだたくさんの女性たちが今、社会の第一線でトップランナーとして自身の夢を叶え、新たな目標に向かって挑戦を続けています。そんな阪大OGたちからの、未来の阪大女子の皆さんに向けた熱いエール。
目の前に立ちほだかる受験、そして大学生活のさらに先に広がる、あなただけの未来を思い描いてみてください。



ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター
市川 絵理 さん
工学研究科 機械工学専攻
2022年3月 修了



大学入学時からサークル、学業、研究に一生懸命取り組みましたが、特に研究室配属後は、研究に熱中しながら研究者としての基礎を培いました。また、他学部の理系女子学生との交流や、総長と対談する貴重な機会をいただくなど、自身の幅を広げる様々な経験ができました。

現在は、空調機メーカーで未来の空調機に使いたい新材料の評価や、最先端の加工方法の検討に携わっています。

卒業して改めて感じる阪大の魅力は2つです。1つ目は各分野の最先端を進む先生から学べる環境。2つ目は女性の理系研究者が学内外から集う場が充実しており、自分のキャリアを想像し気軽に相談できる仲間を見つけられることです。

未来の阪大生の皆さん、なりたい自分の姿を探し、見つけ、追求できる環境や支援が、阪大には惜しみなく存在します！ぜひ阪大から大きく羽ばたいてくださいね！



JSR株式会社 製造技術第三センター
村瀬 菜摘 さん
理学研究科 化学専攻
2023年3月 修了

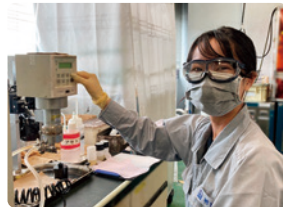


学生時代は、「なんでもいいからやってみる」ことを大切に、学会への参加・様々なアルバイト・就活支援団体など、数多くの経験ができるよう心掛けました。

現在は化学メーカーで製造技術職としてディスプレイ関連材料の品質を守る仕事をしています。トラブル対応から、新たな原料の購買先を探索するための実験まで、業務内容は会社の同期も驚くほど多岐にわたっていますが、いろんな業務に携わってみたいと考えていた私にはぴったりの仕事だと感じています。

阪大の良いところは、学内外問わず多くの人に出会えることです。国公立トップの学部生数なので、自分の行動次第でバックグラウンドも、専攻も、将来の夢も違う人に出会うことができます。

「なんでもやってみる」ことができるのは大学生の特権です。ぜひ阪大でいろんな人に出会っていろんな経験をし、自分だけのやりたいことを見つけてください！



外務省
中村 ゆりあ さん
外国語学部 外国語学科
ロシア語専攻
2016年3月 卒業



学生時代に最も力を入れたことは、専攻であったロシア語の勉強です。授業の予習復習だけではなく、スピーチコンテスト、日露学生交流及びロシア語劇への参加、並びにロシア留学など、できるだけロシア語を使用する機会を増やすよう挑戦しました。

阪大は真面目な校風なので、目標に向かって勉強するのを応援してくれる友人や教職員の方が多いことが魅力的だと思います。

現在は、外務省の海外オフィスの一つと言えるウズベキスタン日本大使館の広報・文化班で勤務しています。ウズベキスタンで日本文化を広めるためのイベントを行ったり、大使館のSNSで日本に関する投稿を行うなど、現地の方に日本をより身近に感じていただけるように努めています。

たとえ受験勉強がうまくいかなかったり、今は夢や目標がなくても、色々なことに全力で挑戦し続ければ、道は開けます。ぜひ阪大で、あなたの新しい道を切り開いてください。



法務省
樋口 比呂 さん
法学部 法学科
2015年3月 卒業



私は法律を扱う仕事に興味があり、法学部に入りました。1~3年次は講義やゼミ活動、4年次には公務員試験の勉強に特に熱心に取り組みました。また、アルバイトやボランティアを通じて子どものいじめや貧困に触れたことが、人権擁護事務を担う法務省を志望するきっかけになりました。入省後は、法令や制度についての問合せに回答する業務等を担当し、育休を経て、現在は法務局で不動産登記の受付や調査を行う仕事と家庭を両立しています。

思い返すと、阪大の環境はとても恵まれたものでした。図書館は私のお気に入りの場所で、4年次には毎日通って勉強していました。また、明るく面白くやるときはやる友人達が私の原動力でもありました。今でも多方面で活躍する友人達に仕事やプライベートでお世話になっています。

人も施設も魅力ある阪大での生活は、きっとあなたの人生にとって貴重な時間になると思います。学生生活、どうぞ楽しんでください。



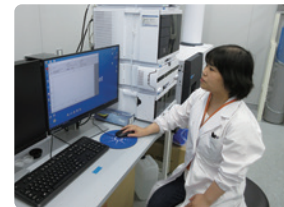
地方独立行政法人
大阪健康安全基盤研究所
浅田 安紀子 さん
薬学研究科 応用医療薬科学専攻
2011年3月 修了



学生時代は化学系研究室で人工核酸の研究をしていました。毎日実験に追われて、たくさん失敗もしましたが、卒業までに自分の研究テーマをまとめられたのは良い経験でした。

現在は、人々の健康と生活の安全を守るための検査・研究を行う仕事に就いています。私の所属する部署では、健康被害を引き起こす可能性のある製品が流通しないよう、医薬品・健康食品・危険ドラッグ等を対象に検査を行います。学生時代に身につけた知識・技術を仕事に活かせる機会が多く、阪大で学んでよかった…！と折に触れて感じています。卒業後も恩師や同窓生との縁に助けられことも多く、大学を通じて生まれたつながりに感謝しています。

大学で学ぶ数年間はあっという間に過ぎていきますが、その後の何十年にわたる人生に大きな影響をもたらす数年間でもあります。阪大での学びを足がかりに、皆さんが活躍できる場所に出会えることを願っています。



兵庫県豊岡市 地域おこし協力隊
任意団体COARS 共同代表
森本 莉永 さん
人間科学研究科 人間科学専攻
2021年3月 修了



学部時代は外国語学部でヒンディー語を専攻し、言語学習に加え、インドの教育発展など国際協力に対する理解も深めました。大学院では人間科学研究科に所属し、開発人類学や国際協力論を学びながら、発展途上国の農村部における参加型開発を研究しました。また、体育会弓道部で女子部長も務め、ボランティア協会で市民活動をサポートしたり、大阪や広島などで産官学連携の地方創生プロジェクトにも参画しました。現在は、地域おこし協力隊として農業振興に携わっています。「COARS」という団体を立ち上げ、食育活動やフィールドワーク、農業のブランディングを通じて、消費者意識の向上・地域循環型農業の実現を目指しています。

研究分野の枠を越えて学際的に知見を広げたり、様々なバックグラウンドを持った人々と共創することができるのは総合大学の大阪大学ならではの強みです。素敵な仲間との出逢いを大切に、大学生ライフを思いっきり楽しんでください！





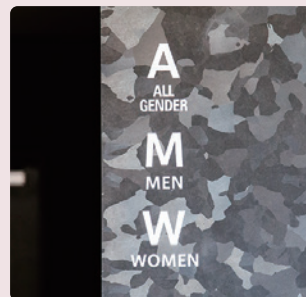
阪大的!! 多様性応援アクション



D&Iスペース



吹田キャンパスにあるD&Iスペースのコミュニケーションエリアは学生・教職員をはじめ多様な方々が自由に交流できるスペースです。性的指向・性自認、国籍や文化的背景、年齢、価値観、障がいの有無等の属性を超えた交流の場として活用いただけます。



ALL GENDER トイレ



大阪大学では、「シングルジェンダーのトイレに入りにくい」「自分も安心して使ってOK」という表示があれば」という、多様な性別をもつ人たちの声に応え、一般的な「多目的トイレ」ではなく、利用者の性別を問わない「ALL GENDER トイレ」を設置しています。



生理用品ディスペンサー



女子学生のウェルビーイングの向上を目的として、キャンパス内の女子トイレ、多目的トイレ(ALL GENDERトイレ)内にディスペンサーを設置し、生理用品を提供しています。吹田・豊中・箕面の全キャンパスにおいて順次設置場所を増やしていく予定です。



理系女子学生 サポートプロジェクト



入学支援金制度

【大阪大学学部入学生(女子学生)対象】



理工系学部への女子の進学を応援し、ダイバーシティ推進と活性化を図るため、理学部、工学部、基礎工学部に入学した優秀な女子学生50名に対して、1名あたり20万円を支給する制度です。



自然科学系女子学生ネットワーク

asiam



自然科学系の学部及び研究科に在籍する女子学生を対象に、イベント等を通じ分野を超えて交流し、女性研究者や女性リーダーを育成することを目的として発足したネットワークです。



イノベーション女性活躍推進 プログラム

※文系学生も参加できます。

女子学生と企業等の女性社員が集い、阪大教授陣や外部講師の講義、ワークショップ、ディスカッション等を通して、変化の時代に対応するイノベティブなリーダーとなることを目指すプログラムです。



女子学生と企業等との交流会

理系女子学生が、女性ならではのライフステージを視野に入れながらキャリアイメージを育むため、企業等の人事担当者や研究・開発担当者の方々と交流できる機会です。





Check it out!

受験生お役立ち情報



Center for
Diversity and
Inclusion
Osaka University

ダイバーシティ& インクルージョンセンター



ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは女子学生、女性研究者・職員がいきいきと活躍できるよう、様々なサポートを行っています。あなたのチャレンジを支援し、その夢を全力で応援します。



受験生向けサイト 「オモロい! 阪大」



「オモロい! 阪大」は、大阪大学をもっと知りたい受験生のためのサイトです。阪大ライフを知るための、オモロいストーリーが盛りだくさん。「オモロい」大阪大学を感じて、楽しんでください。



入試・入学情報



大阪大学に興味のある高校生・保護者等に向けて、入試やオープンキャンパスの情報、高校生・受験生向け大学案内デジタルパンフレットやWebコンテンツなどを一挙にまとめました。全ての情報をWeb上でご覧いただけます。



ボクらは、
阪大豊中キャンパスで自
由気ままに暮らす猫たちニャン。
阪大生からは、構内にある待兼山に
ちなんで「まちかねこ」と呼ばれてい
るニャ。いつも頑張ってる阪大生た
ちを癒す天使だニャ。みんなと会
える日を楽しみに待って
るニャー!



"内に秘める強い意志(=will)"
それは阪大女子学生共通の魅力。

willは、

女子中高生の皆さまへ
先輩から届けるエールです。